

クラシックにとどまらないボーダーレスな演奏活動を展開し、カリスマ的人気を誇る石田「組長」と第一線で活躍する演奏家で構成される弦楽アンサンブルが倉敷市に初登場します。

石田組

双雲

石田組 見参

Program

シベリウス:アンダンテ・フェスティーヴォ / ラター:弦楽のための組曲 / ホルスト:セントポール組曲 op.29-2 /
バルトーク(ウィルナー編曲):ルーマニア民俗舞曲 / C.M.シェーンベルク(松岡あさひ編曲):レ・ミゼラブルメドレー /
ローリング・ストーンズ(松岡あさひ編曲):悲しみのアンジー / レッド・ツェッペリン(松岡あさひ編曲):天国への階段 /
クイーン(松岡あさひ編曲):ボーン・トゥ・ラブ・ユー ※都合により変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。



©Norizumi Kitada/ Universal Music

第38回
倉敷音楽祭
The 38th
KURASHIKI
MUSIC FESTIVAL

2024 **3/2(土)** | 会場 倉敷市民会館 ホール
時間 開場16:30 開演17:00

全席
指定

一般 **4,000円**

大学生
以下 **500円**

当日各500円増
前売で完売した場合、
当日券の販売はありません。
就学前のお子様のご入場はご遠慮ください。

発売日 | アルスクらしきチケット会員先行発売 12月15日(金) | 一般発売12月22日(金)

主催/倉敷市・倉敷市文化振興財団 共催/倉敷市教育委員会
協賛/JFE21世紀財団 後援/文化庁・岡山県・岡山県教育委員会



ご予約・
お問合せ

アルスクらしきチケットセンター (倉敷市芸文館1階事務所)

TEL.086-434-0010 (営業時間9:00~17:00 水曜日は休み)

インターネット予約倉敷音楽祭特設サイト

https://arsk.jp/m-fes



チケット取り扱い
プレイガイド

●倉敷市民会館 (TEL 086-425-1515)
●チケットぴあ (Pコード:256-516) <https://t.pia.jp>
●ローソンチケット (Lコード:62010) <https://l-tike.com>
●岡山シンフォニーホールチケットセンター (TEL 086-234-2010)

最新情報は、ホームページのほか下記のSNSでも配信しています。

f <https://www.facebook.com/arsk.jp> X @ars_kurashiki Instagram arskurashiki



ヴァイオリン 石田 泰尚

神奈川県出身。国立音楽大学を首席で卒業、同時に矢田部賞受賞。新星日本交響楽団コンサートマスターを経て、2001年神奈川県フィルハーモニー管弦楽団ソロ・コンサートマスターに就任。以来「神奈川フィルの顔」となり現在は首席ソロ・コンサートマスターとしてその重責を担っている。これまでに神奈川文化賞未来賞、横浜文化賞文化・芸術奨励賞を受賞。自身がプロデュースした弦楽アンサンブル「石田組」など様々なユニットでも独特の輝きを見せる。2019年にはEテレ「ららら クラシック」で石田組の特集が組まれた。2020年4月より京都市交響楽団特別客演コンサートマスターを兼任。最新アルバムは2021年12月リリースされた「PIAZZOLLA LIVE」。2022年6月に初の著書となる「音楽家である前に、人間であれ!」を刊行。



ヴァイオリン 直江 智沙子

札幌市出身。桐朋女子高等学校を経て桐朋学園大学を卒業。徳永二男氏に師事。宮崎国際音楽祭、セイジ・オザワ松本フェスティバルに毎年参加。また、広響、京響、山響、札幌響、新日本フィルなどの各オケで度々ゲスト首席奏者を務めている。

財団法人ロームミュージックファンデーションの在外研究生として奨学金を得てベルリンに留学、シュテファン・ピカル氏に師事。2020年より毎年自身が主催する室内楽コンサートを開催、また自身のオーケストラとコンチェルトを度々共演などオーケストラ、室内楽を中心に活動している。トリオン晴れた海のオーケストラ、ARKシンフォニエッタメンバー。神奈川フィルハーモニー管弦楽団第2ヴァイオリン首席奏者。



ヴァイオリン 田村 昭博

4歳よりヴァイオリンを始める。第45回山口県学生音楽コンクール弦楽器部門第2位(1位なし)。2003年、国立音楽大学ヴァイオリン専攻を卒業。草津国際アカデミーなど数々の音楽祭に参加。2004年に日本フィルハーモニー交響楽団に入団。現在、同団第一ヴァイオリン奏者を務める傍ら埼玉県立川越女子高等学校や浦和ユースオーケストラ等にてトレーナーを務める。これまでにヴァイオリンを故石井洋之助、石井志都子、野波健彦、荒井雅至、石井啓一郎、扇谷泰明の各氏に師事。



ヴィオラ 木下 雄介

岡山市生まれ。8歳から25歳までの17年間をイギリスで過ごす。マンチェスター・チャーテムズ音楽学校、英国北王立音楽大学を卒業。ハリー・ケイウッド、ウェンジョウ、今井信子、トーマス・リーブ、アネット・イッサーリス各氏に師事。イソラニ・カルテットのメンバーとしてイギリス各地で演奏。2009年第1回メルボルンで開催されたアジア・パシフィック室内楽コンクールにて、セミファイナリスト。2010年ロンドン交響楽団のオーケストラアカデミーでトレーニングを受ける。元大阪フィルハーモニー交響楽団首席ヴィオラ奏者。第41回神戸灘ライオンズクラブ音楽賞受賞。バトス四重奏団メンバー。水瓶座。B型。犬派。



チェロ 北口 大輔

東京藝術大学卒業、同大学院修士課程修了。ソリストとしてオーケストラとの多数の協演や幅広いレパートリーでのリサイタル、また室内楽奏者として、いずれも高い評価を得ている。アゼリア推薦新人賞、平成12年度大阪府舞台芸術奨励新人賞、平成31年度大阪文化祭賞奨励賞、令和2年度兵庫県芸術奨励賞など多数受賞。東京都交響楽団チェロ奏者、九州交響楽団首席奏者、同楽団首席客演奏者を歴任。現在、日本センチュリー交響楽団首席奏者、パシフィックフィルハーモニア東京客演ソロ首席奏者、大阪音楽大学特任准教授。



ヴァイオリニスト石田泰尚の呼びかけにより2014年に結成された弦楽合奏団。プログラムによって様々な編成で演奏をするスタイルを取っており、メンバーは「石田組長」が信頼を置いている首都圏の第一線で活躍するオーケストラメンバーを中心に公演ごとに「組員」が召集される。レパートリーはバロック音楽から映画音楽、プログレッシブ・ロックまで多岐にわたり各々のスタイルをぶつけ合いながら織り成す演奏スタイルは弦楽アンサンブルの新しい世界を切り拓く存在として各方面から注目され2017年にリリースされたアルバム「THE石田組」はレコード芸術誌上で特選盤の評価を得た。単独公演のみならず渡辺克也氏、工藤重典氏ら著名な音楽家との共演や組員自ら指導に当たる教育プログラムの実施など活動は多岐に渡る。2018年にNHK-FM「ベストオブクラシック」及びNHK-BSプレミアム「クラシック倶楽部」で紹介されその熱いステージの様子が大きな反響を呼び、2019年にEテレ「ららら クラシック」で特集が組まれた。2021年に3年ごとに行われる音楽の友誌クラシック音楽ベストテン、「あなたの好きな室内楽グループ」部門にて第4位(日本人グループ最高位)に選出された。2022/2023シーズンは全25公演となる初のツアーを開催、大好評を博した。2023年4月26日にNewアルバムがユニバーサルミュージックよりメジャー・リリースされることが決定、新譜発売にあわせ2023/2024全国ツアーも開催される。



ヴァイオリン 櫻井 純

国立音楽大学卒業後大阪フィルハーモニー交響楽団に入団。名古屋フィルハーモニー交響楽団を経て留学、F.アゴ스티ーニに師事。帰国後、神奈川フィルハーモニー管弦楽団に入団、ファオシュビラーを務める。



ヴァイオリン 桜田 悟

4歳よりヴァイオリンを始める。小学6年から3年間千葉県少年少女オーケストラ在籍。2008年東京音楽大学入学。大学在学中にリチャード・ディーキン氏の公開レッスン、マーク・ラミレス氏のマスタークラスを受講。京都国際音楽学生フェスティバル2011参加。Strings Chamber Unit the Bistro Wのメンバーとして、第2回宗次ホール弦楽四重奏コンクール優勝、及びハイデン賞、聴衆賞受賞。第6回夢科音楽コンクール室内楽部門最高位(1位なしの2位)。プロジェクトQ第12.13章参加。これまでにヴァイオリンを脇野真樹、景山誠治の各氏に、室内楽を崎谷直人に師事。現在、神奈川フィルハーモニー管弦楽団ヴァイオリン奏者。



ヴィオラ 鈴木 大樹

3歳よりヴァイオリンを始め18歳でヴィオラに転向。第3回横浜国際音楽コンクール弦楽器部門1位。山手の丘音楽コンクール1位、横浜ライオンズクラブ賞、Fグループ賞を併せて受賞。第9回東京音楽コンクール3位等、数々のコンクールに人賞している。宮崎国際音楽祭、おんぶの祭典、東京春音楽祭、ラ・フォル・ジュルネ等の音楽祭に出演。現在パシフィックフィルハーモニア東京特別首席奏者。ヴァイオリンを脇野真樹、宮下要、大川内弘の各氏に師事。ヴィオラと室内楽を岡田伸夫氏に師事。



チェロ 松尾 美弦

4歳より大阪フィルハーモニー交響楽団首席チェロ奏者である父の近藤浩志からチェロの手ほどきを受ける。2010年東京音楽大学付属高等学校入学、2013年同大学入学。2017年同大学卒業。東京フィルハーモニー交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団等客演多数。-koike strings-エキストラメンバーとして、相棒Concert・響-2016および2018大阪公演に参加。第24回宮日音楽コンクール弦楽器一般の部第1位、高校・大学一般の部最優秀賞、弦楽器全部門グランプリ受賞。これまでにチェロを近藤浩志、菊田雅治、山崎伸子、山本裕康各氏に師事。2023年9月まで神奈川フィルハーモニー管弦楽団契約団員を務めた。



ヴァイオリン 村井 俊朗

堀川高校音楽科分校(現堀川音楽高校)、桐朋学園大学を経てウィーン国立音楽大学にて研鑽を積む。帰国後、フリーランス奏者として神奈川フィル、東京フィル、東京シティフィル、仙台フィルなど、日本の主要オーケストラにて客演コンサートマスターとして出演する一方、室内楽やレコーディングの分野でも活動している。



ヴィオラ 生野 正樹

大分県出身。14歳よりヴィオラを始め、洗足学園音楽大学器楽科を首席で卒業、同大学大学院修了。内田博、岡田伸夫の各氏に師事。ザルツブルク・モーツァルト国際室内楽コンクールにて第2位入賞。日本演奏連盟のオーディションに合格し、九州交響楽団と共演。ソノアルバム「四枝組BOXCD」ノスタルジック・メロディーズ」をWarner Music Japanより発売。これまでに日本フィル、東京シティフィル、神奈川フィル、広島交響楽団など全国の主要オーケストラに客演首席として参加。2019年天皇陛下即位祝賀式のオーケストラにてソロヴィオラ奏者を務めた。現在はオーケストラへの客演を中心に室内楽、ソロ、レコーディングなどで活躍中。第21弦楽四重奏団、トリオAXISメンバー。



チェロ 西谷 牧人

奈良県出身。東京藝術大学及び大学院を修了後、米国立インディアナ大学にて研鑽を積む。これまでに河野文昭、堤剛、ヤノシュ・シュタルケルの各氏に師事。2005年帰国し兵庫芸術文化センター管弦楽団に創設メンバーとして在籍(〜2008年)。2015年、東京交響楽団首席ヴァイオリン奏者の清水泰明と自作自演弦楽ユニット「清水西谷」を結成、全曲オリジナル作品による「KODO」にてCDデビュー。2013年度青山音楽賞受賞。2008〜2016年東京藝術大学非常勤講師。2008〜2019年東京交響楽団首席チェロ奏者を務める。現在は独立し、パッサからジャズ、タンゴ、自作自演までジャンルを超えた演奏活動を展開している。2021年より愛知県立芸術大学非常勤講師。



コントラバス 米長 幸一

10歳よりコントラバスを始め、堤俊作氏に師事。桐朋学園大学卒、研究科修了。在学中に池松宏、ゲーリー・カー、ライナー・ツェベリッツの各氏に指導を受ける。2000年日本演奏家協会コンクール弦楽器の部第1位。2001年より神奈川フィルハーモニー管弦楽団首席コントラバス奏者を務める。

石田組公式YouTubeチャンネル

<https://www.youtube.com/@ISHIDAGUMIVEVO>

